

1. 実況上の着目点

① 日本の東に太平洋高気圧が
あって、日本付近を覆っている。
西～北日本では高気圧に覆われ、
晴れて気温が上昇し、猛暑日と
なっている所がある。

② 500hPa5880m付近に-6℃前後
の寒気を伴うトラフが北日本を
通過中。

③ ①の気温上昇と高気圧縁辺
の下層暖湿気、②の上空寒気
の影響で、大気の状態が非常に不
安定となっており、南西諸島と
東～北日本では雷を検知し強い
雨や激しい雨を解析。特に東日
本と東北地方では、局地的に非
常に激しい雨や猛烈な雨を解析。関東甲信地方を中心に竜巻注意情報を発表。

④ ①の高気圧の縁辺で気圧の傾きが大きくなっており、南西諸島と北日本ではやや強い風が吹き、うねりを伴い波が高くなっている所がある。

⑤ アムール川中流付近には500hPa5640m以下の-9℃以下の寒気を伴う寒冷渦があって、東進。また、500hPa5820m付近の正渦度極大域に対応して、前線が華中～沿海州付近にのびている。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の高気圧は23日にかけて本州付近に張り出す。西～北日本では23日にかけて、晴れて気温が上昇し、猛暑日となる所がある。熱中症などの健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。

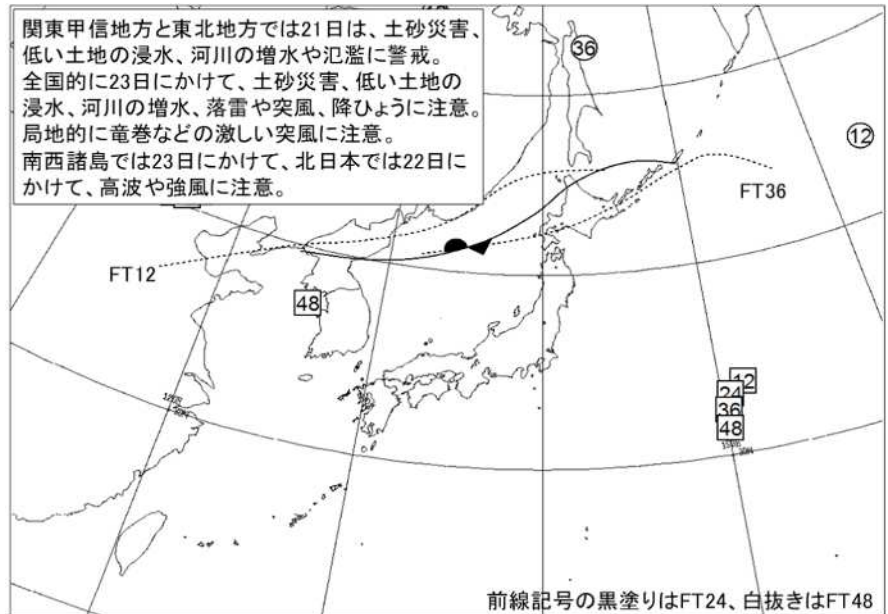
② 1項②のトラフは、21日夜には北日本を通過するが、その後も23日にかけて、東日本を中心に500hPa-6℃前後の寒気に覆われる。また、1項⑤の寒冷渦周りのトラフが22～23日に北日本を通過し、前線が22日に北日本を南下する。上空寒気や前線南下、2項①の気温の上昇と高気圧縁辺の下層暖湿気の影響で、午後は山地や山沿いを中心に大気の状態が非常に不安定となり、激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。関東甲信地方と東北地方では21日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。全国的に23日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。なお、上空の風が弱いため、対流雲が発達した場合は動きが遅く、局地的に降水量が多くなるおそれがあることに留意。

③ 1項⑤の寒冷渦に対応する低気圧が、22日夜にはオホーツク海に進む。低気圧と2項①の高気圧との間、また高気圧の縁辺で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、うねりを伴い波が高くなる所がある。北日本では22日にかけて、南西諸島では23日にかけて、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本とするが、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時から24時間)：東海100mm。② 波浪(明日まで)：北海道・沖縄3m。③ 高潮(明日まで)：東～西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。



主要じょう乱解説図